



TITLE:

# 昭和11年度總會と天文講演「日食」映畫の會

AUTHOR(S):

---

CITATION:

昭和11年度總會と天文講演「日食」映畫の會. 天界 1937, 17(190): 168-168

ISSUE DATE:

1937-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167403>

RIGHT:

## 昭和11年度總會と天文講演「日食」映畫の會

昨年12月6日既報の如く、京都・日出新聞社の後援と京都支部・京星會々員の援助を得て、日出會館にて華々しく開會の幕は落された。會場の都合により、先づ一般公開の天文講演と日食映畫會が始められた。この日、新聞廣告等により會場に集まる一般人士は無慮數百名の盛況を見、眞剣な聴衆は堂に満ちた。最初、漫畫の映寫が始められ、觀衆の靜肅を計つて、本日の根幹をなす山本博士の「太陽の解剖」なる大講演は始められ、堂々滿座の視聽を集め、太陽の偉大と去る6月の日食の有意義に、今更ながら驚異の聲を上げて、天文學禮讃の雰圍氣に浸つた。やがて、妙なる伴奏樂と共にスクリーンには當日の呼物トキキ貴重なる6月日食の寫眞が映寫され、人々は再び日食當時の緊張と期待の心に歸り、マザマザと目前に當時の太陽コロナやプロミネンスの異様に見張り、又一方觀測隊や觀測場に於ける活躍に、心をときめかした。蓋し、今回の日食の記録映畫は殆んど此處に集められ、會員は一般人士と共に再びなき今回の催しに感激を以つて始終した事だつた。

講演並に映畫の會を終りて、樓上にて11年度總會を18時より開催した。開會の挨拶を水野副會長述べ、高城氏より會計並に事業の報告あり、終つて晚餐に移る。續いて大阪、京都、岡山、大津、和歌山の支部報告、並に觀測部の報告や自己紹介あり、次に垂井氏の幹旋に依り會則の改正があつた。之れに組織が變更され、役員の改選が行はれた(詳細は追つて發表の筈)。更らに山本會長より別頁の如き表彰が提案され、滿場一致で採決さる。續いて、山本博士の「日本天文界の展望」と題する講演あり、次に未公開の日食映畫(會員撮影)を映寫した。尙ほ之の間、記念撮影(口繪参照)が行はれた。之の總會に出席せる會員は45名で22時半頃無事盛況裡に閉會した。

**感謝：**今回の總會のためその會場を提供し、フィルム映寫その他の勞を惜しまなかつた京都日出新聞社と、京都支部京星會々員の絶大なる盡力に對し深甚の感謝の意を表する次第であります。

—— 係リ